

信州ESDコンソーシアム 成果発表 & 交流会

ESD (Education of Sustainable Development) は、これから目指すべき持続可能な社会の創り手を育む教育です。新しい学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs (持続可能な開発目標) 達成の鍵として、注目が集まるESD。この成果発表&交流会では、各校でESDの学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通じてその学びを深めます。長野県内だけでなく、各地のユネスコエコパークでESDを実践している学校もオンラインでつながることで、様々な分野での発表や学びの広がりが期待されます。

日時：2022年 **2月5日** ±

10:00~15:00

会場：オンライン開催

参加費 無料

発表・交流をご希望の方は事前申し込み必要
1月14日(金)締め切り

同時
YouTube
ライブ配信

Web (YouTube) 視聴のみをご希望の方は、事前申し込み不要です。特設HP内でYouTube Liveのリンク先をご案内しておりますので、成果発表&交流会当日、QRコードまたはURLよりご覧ください。

【午前の部】

10:00~10:10 開会行事
10:15~11:30 分科会(1~3)
11:30~11:40 講評
11:45~12:00 午前の部の共有

【午後の部】

13:00~14:15 分科会(4~6)
14:15~14:25 講評
14:30~14:45 午後の部の共有
14:45~15:00 閉会行事

午前・午後で3分科会ずつ 最大6分科会を予定
(1分科会 4~5校で発表・交流)

主催：信州ESDコンソーシアム

共催：公益財団法人イオン環境財団



後援：信州大学教育学部、長野県教育委員会、一般社団法人長野県環境保全協会、長野県ユネスコ連絡協議会、長野ユネスコ協会、ESD活動支援センター、中部地方ESD活動支援センター、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)

お申し込み・YouTube
の視聴はこちらから!



<https://esd-nagano.org/conference2022/>

お問い合わせ 信州大学教育学部 信州ESDコンソーシアム事務局(担当:松橋・清水)
〒380-8544 長野市西長野6-0 TEL:026-238-4034 E-mail:kyoesd@shinshu-u.ac.jp HP:http://esd-nagano.org/

ユネスコスクールとは

ユネスコスクール (Associated schools Project Network:ASPnet) は、ユネスコ憲章で示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校です。世界182カ国の11,500校がユネスコスクールに加盟しており、このうち日本はもっとも多い1,120校が登録しています (2019年11月現在)。

日本ではユネスコスクールはESD推進拠点として位置づけられ、ESDの先導的な実践や発展、情報発信を通じて、ESDの普及・推進に大きな役割を果たしてきました。ESDにすべての学校が取り組むようになった現在、ユネスコスクールにはさらに質の高い、モデルとなるESD実践が期待されています。



信州ESDコンソーシアムについて

信州ESDコンソーシアムは、長野県でのESDの普及・推進を目指して、2017年2月に信州大学教育学部が中心となって設立した団体で、ユネスコスクール、教育委員会、民間ユネスコ協会、NGO、企業、団体など、子どもたちの学びにかかわる多様な主体が参画しています。コンソーシアムはESDに関連する情報発信や実践のコーディネート、各種研修会や交流会の開催などの活動を行っています。

自然豊かな長野県には、国内でもっとも多い3つのユネスコエコパークがあることから、これを活かしたESDの普及・推進にも取り組んでいます。

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパーク (Biosphere Reserve:BR) は、ユネスコ人間と生物圏 (MAB) 計画の枠組みに基づいて国際的に認定された、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目指すモデル地域で、「持続可能な開発について学ぶ場」として注目されています。世界131カ国に727サイトのBRがあり、このうち日本では10サイトが登録されています (2021年7月現在)。

ユネスコエコパークには豊かな自然や、自然と調和した営みを続けてきた歴史、伝統、文化などの学習資源が豊富で、ESD実践の場として好適です。

今回の成果発表&交流会では、各地のユネスコエコパークでESDを实践する学校がオンラインでつながり、交流を通じて学びを深めます。ぜひ、ご期待ください。



ESDとは

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で、『持続可能な開発のための教育』と訳されます。気候変動や貧困、人権、平和といった、私たちの社会の存続に関わるさまざまな課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自ら行動する人を育てることを目指す、「持続可能な社会の創り手」を育む教育です。SDGs(持続可能な開発目標)においてESDは、SDG4のターゲットの一つであると同時に、すべての目標達成に人づくりを通じて貢献する鍵ともなっています。

2020年度から順次実施されている新学習指導要領では、「持続可能な社会の創り手」の育成という表現で、ESDの理念が組み込まれています。ESDは、これからすべての学校現場で実践される学習活動です。